

【事例 H27-02-05】 福井県

若狭地域自殺対策連絡協議会の取組

＝「相談窓口における相談者チェックシート」・「『トイレ』を活用した住民啓発」＝

各種窓口の担当者が自殺のリスクが高い住民に気づいて、適切な相談機関につなぐための「相談窓口における相談者チェックシート」を作成し活用した。相談先を記した名刺サイズの持ち帰り用「こころの相談カード」を、透明なカードホルダー内に収めた啓発媒体を男女別に作成して、管内コンビニと協議会構成機関のトイレに掲示した。

【実施主体】 福井県

【大綱の分類】 国民一人ひとりの気づきと見守りを促す

【事業予算】 平成 26 年度 137,670 円 （自殺対策事業総額 923,844 円）

【利 点】

- ▼「チェックシート」は、窓口担当者が自殺リスクへの理解を深めることで、ハイリスク相談者に気づき、適切な相談機関につなげることができる。
- ▼「こころの相談カード」は、コンビニのトイレに設置することで、従来の啓発手法では情報を届けにくかった住民（若者～働き盛り世代）にも有効にメッセージを届けられる。

【実施に至るまで】

【背景・必要性・理由の概要・等】

自殺者数を減らすため、地域の各機関が自殺予防への理解を深めて連携ネットワークが整備されるとともに、住民自身も周囲の人々の不調に気づいて声をかけ合う地域づくりを目指した。

- ・平成 22 年度～若狭地域自殺対策連絡協議会設立
- ・平成 24 年度～相談窓口における相談者チェックシートを作成し活用
- ・平成 25 年度～若狭地域相談機関紹介集を作成し配布
- ・平成 26 年度～『トイレ』を活用した住民啓発を開始

【計画を立てる上での工夫・等】

若狭地域自殺対策連絡協議会は 30 機関（医療、司法、警察、消防、金融、福祉、労働、行政）で構成。構成機関が協働するよう全体会を年 2 回開催し、協議会としての活動を計画・評価した。具体的な取組については、部会を設けて検討した。

【具体的な内容・実施の過程】

▼相談窓口における相談者チェックシート

目 的：各種窓口の担当者が自殺のリスクが高い住民に気づいて、適切な相談機関につなぐことで、自殺を未然に防ぐ。

方 法：①気がかりなサインや危機要因がチェックできるチェックシートを作成

②チェックシートを活用するためのガイドブックを作成し、研修会で使用方法を訓練後、業務での活用を促した。

③適切な相談機関につなげられるよう、「若狭地域相談機関紹介集」を作成し、各窓口に配布した。

- 工夫点：
- ・チェックシートには自殺のサインを箇条書きにし、チェックボックスを付した。また、ラミネート加工を施し、繰り返し使用できるようにした。
 - ・ガイドブックには、尋ねてみなければ表面化しないサインを見逃さないよう、投げかけるべき質問例を記載した。
 - ・ハイリスク相談記録票を四半期ごとに取りまとめ、活用状況や成果を協議会構成機関で共有した。

▼『トイレ』での住民啓発

目的：若者～働き世代で悩みを抱えている人が、こころの不調に気づき、相談窓口相談することで、自殺を未然に防ぐ。

- 方法：①こころの不調に気づくための啓発媒体と、相談先を記した持ち帰り用こころの相談カードを作成した。
- ②管内コンビニと協議会構成機関のトイレに啓発媒体とこころの相談カードを設置した。
- ③カードの減少数とカードをみて相談してきた件数を取りまとめ、協議会構成機関で共有した。

- 工夫点：
- ・啓発媒体に、こころの不調がチェックできるサインを記載した。
 - ・持ち帰り用カードを透明なカードホルダー内に収めた啓発媒体を、男女別に作成した。
 - ・啓発媒体は周囲の目を気にしなくてもよいトイレに設置した。カードは持ち帰りやすいように名刺サイズにした。

【成果】

- ▼「相談窓口における相談者チェックシート」を活用した取組を始めてからの2年3か月間分を集計した結果、「チェックシート」の活用によって、窓口来訪者のうち212件が自殺ハイリスク者と判定され、そのうち92件(43.4%)が相談機関に紹介された。
- ▼『トイレ』での住民啓発は、その密室性に着目し働き盛りの不特定多数をねらった戦略であり、平成26年12月までの9か月間で、213個の掲示媒体から計2,468枚のカードが持ち帰られた。同じ期間に電話相談は31件、月平均3.4件あった。
- ▼自殺者数の減少という最終目標には至っていないが、多分野の機関が地域の課題および目標を共有して、多くの住民にメッセージを届けることができた。

【課題】

- ▼こころの相談カードに記載された相談先の修正とコンビニトイレのカード管理に手間がかかる。

【事業種別】普及啓発事業

【準備期間・人数】(不明)

【予防段階】0次予防、1次予防

【自治体規模】人口 789,633人(H26.10.1) 財政規模 444,437千円

【自治体負担率】 1 / 2

【事業対象】 住民

【支援対象】 住民

【実施主体・問合せ先】 福井県嶺南振興局若狭健康福祉センター 地域保健課

TEL: 0770-52-1300 FAX: 0770-52-1058

E-mail:w-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp

【参考資料・文献】 平成20年 NPO 法人ライフリンクが提唱した自殺の特徴